



## 相手の気持ち

校長 菅原 定志

今年の冬は暖かい日が続いています。保健室の前の花壇では、ふきのとうを見ることができます。春はもうそこまでやってきています。

さて、野球観戦を楽しみにしている私にとって、キャンプも始まり、いよいよ球春到来と思っていた矢先、元楽天ゴールデンイーグルスの監督野村克也氏が亡くなりました。楽天ファンの私にとってはとても残念なニュースでした。ご冥福をお祈りいたします。野村監督と言えば「ぼやき」です。スポーツニュースや新聞でたくさんの「ぼやき」を見てきました。この「ぼやき」が監督と選手、そして楽天ファンの心をつないでいました。野村監督は、上手に「ぼやき」を活用していたのだと思います。さすがです。私も、最近年のせいか「ぼやき」が出ます。まだ上手に活用できませんが、その一つを紹介します。

階上中学校では、「命を守る」ための防災学習を行っています。さらに、震災を風化させないことも「命を守る」ことにつながると考え、今年度は「伝承」をテーマに行ってきました。今年度の本校の防災学習の取り組みは、時代にマッチしたこともあるってか、たくさんの新聞社やテレビ局から取材を受けました。そして、記事やニュースとして発信されました。子どもたちにとって、自分たちが行ってきた学習の価値が高まり、自信につながっているのではないかと思っています。

今、3月11日が近づくにつれ、たくさんの取材希望が学校に舞い込んできます。特集記事や特集番組をつくりたいので取材できないかと、東京に本社のある新聞社や全国版のニュース番組から電話が来ます。私は、この取材が「子どもたちのためになるかどうか」を判断基準として取材を受けるか受けないかを決めています。残念なのが、話を聞いていく中で、自分たちの紙面や番組をつくることを優先するあまり、中学生の子どもたちをおきぎりにしようとすることがあります。例えば、平日に取材できないか、取材の関係から日にち限定でお願いしたい、本校の子どもたちに関連する場所、例えば伝承館の責任者の名前や電話番号、メールアドレスを教えて欲しいなど取材許可をとってほしいとの話があるときもあります。その時は、はっきりと「取材はお断りします」と話します。導火線が短くなった私にとって、「なんて時間の無駄だったんだ」と腹立たしくなります。私自身、子どもたちや学校のためならいくらでも時間を惜しまず使いますが、相手のことを考えない要求は、決して受け入れられません。また、中学生がやるべき事は、授業を受けることであり、部活動をすることで心身を鍛えることです。そして友達や先生と接する中で、思いやりや感謝の気持ちを育みながら人間として大きく成長していくことだと思います。しかし、自分優先で考えてしまう大人は、上から目線で話をしてきます。相手の気持ちを考える余裕がないかもしれません。

これまで取材を受けてきた多くは、地元の新聞社や地元に拠点を置くテレビ局が主でした。いつも子どもたちを優先に考えて取材をしていただいていました。話の聞き方も、生徒を気遣いながら進めてもらっていました。私も安心して見守っていました。やはり、普段から温かく見守っていただいている人たちの接し方は違うのだと痛感します。

「相手の気持ちを考えて行動する」ことができない大人が増えてきているとは思いたくありません。しかし、残念ですがそれができない人とかかわることが何度かあったのも事実です。「相手の気持ちを考えられない」のは、忙しいから、目の前の仕事でいっぱいといっぱいだからなどその理由はたくさんあるのかもしれません。社会自体がそのような風潮になっているのかと心配にもなります。

苦しいとき、辛いときこそ「相手の気持ちを考えて行動する」ことで、道が開けていくのではないでしょうか。自分の気持ちを考えてくれる相手には、優しくできますし、その人の気持ちに寄り添おうと思うはずです。本校の生徒には、「相手の気持ちを考えて行動する」人になってもらいたいと願っていますし、そういう人になると私は信じています。私も「相手の気持ち」を考えながら人生を歩んでいきたいと思います。

## 青少年読書感想文全国コンクール

### 佐藤くるみさん 文部科学大臣賞 受賞

『「言葉」は人をつなぐ』(「舟を編む」三浦しおん著)

3年生の佐藤くるみさんが書いた読書感想文が地方審査を経て、全国397万5894編の中から、内閣総理大臣賞(最優秀賞)に次ぐ、文部科学大臣賞(優秀賞)に選ばれ、東京での表彰式(2月7日)に出席してきました。表彰式では、秋篠宮ご夫妻のご臨席のもと、文部科学副大臣より表彰状が手渡されました。そして、記念パーティでは、秋篠宮ご夫妻と懇談する時間もありました。秋篠宮様は「本に書かれていることの内容をしっかり考え、自分自身の経験にも照らし合わせながら読んでおられることに感心するとともに、そのことを上手に表現されていることに感銘を受けました」と感想を述べられました。「舟を編む」を映画でご覧になられたことも話されたそうです。感想文は、すでに毎日新聞と三陸新報に掲載されました。本校のホームページでもご覧いただけます。



## 栄光を称えて

### ■宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展



硬筆の部 特選

金賞

毛筆の部 特選

金賞

### ■宮城県中学校柔道新人体重別選手権

男子 90 kg級 第3位



## 3月 行事予定

\*3月から下校時刻は17:30分になります。

日	月	火	水	木	金	土
1 語り部勉強会 KENKO CUP ソフト テニス大会(女子)	2 朝会	3	4 公立高校一次 試験 【部活動休養日】	5	6 同窓会入会式 卒業式準備 【部活動休養日】	7 卒業式 【部活動休養日】
8	9 振替休業日	10 公立高校追試 験	11 みやぎ鎮魂の日 4時間授業 語り部活動	12	13 職員会議 【部活動休養日】	14
15	16 14:45一斉下校 【部活動停止】	17 朝会 委員会活動	18 【部活動休養日】	19	20 春分の日 新潟県小国町小中 学生との交流会	21
22	23	24 修了式 3時間授業	25 一日入学	26	27 離任式 9:00~	28
29 小中合同PT A送別会 18:30~ はまなす海洋館	30	31				



